

今月の報告

四国旅客鉄道株式会社と四国鉄道文化館に関する連携協定を締結

観光物産課 観光交流センター TEL0897-47-3575

西条市と四国の鉄道の発展を推進

7月20日の四国鉄道文化館南館開館セレモニーに伴い、当市と四国旅客鉄道(株)との「四国鉄道文化館に関する連携協定」が締結されました。

この協定は、四国鉄道文化館を基軸に当市のにぎわいづくりと四国の鉄道の発展に資することを目的としています。

四国鉄道文化館は「新幹線の生みの親」といわれる当市の名誉市民・十河信二氏の顕彰と、四国の鉄道や当市の魅力を発信することを目的に、財団法人日本ナショナルトラストによって建設され、十河信二記念館、観光交流センターと併せて「鉄道歴史パークinSAIJO」が平成19年11月にオープンしました。

このたび、JR伊予西条駅の線路をはさんで四国鉄道文化館南館が新たに開館し、四国旅客鉄道(株)をはじめとした各関係機関のご尽力によって、

四国鉄道文化館には十河信二氏ゆかりの0系新幹線電車やC57形蒸気機関車など総数6両の鉄道車両を展示することとなりました。

市では今回の協定締結を契機として、四国旅客鉄道(株)とさらなる連携を強化し、四国鉄道文化館をはじめとした「鉄道歴史パークinSAIJO」を観光・交流エリア拠点として捉え、伊予西条駅前におけるにぎわいづくりを推進していきます。

協定書を手に固い握手を交わす
四国旅客鉄道(株)の泉雅文代表取締役社長(右)と青野市長



「C57形蒸気機関車」5インチモデル寄贈

松山市在住の井手溥氏から四国鉄道文化館南館にC57形蒸気機関車の5インチモデル(1/8スケール)が寄贈され、8月13日に青野市長から井手氏へ感謝状が贈られました。

このC57は、井手氏が昭和60(1985)年に1個の動輪から組み立て作業を開始し、18年の歳月を経て平成14(2002)年に完成した精巧な出来栄の機関車です。

寄贈いただいた機関車は、C57形蒸気機関車44号機(実車)と並べて、末永く展示させていただくこととしています。



中央:井手氏



四国積水工業株式会社と災害時応援協定を締結

市庁舎新館5階 危機管理課防災連携係 TEL0897-52-1267

7月29日、四国積水工業株式会社と「災害時等における上下水道施設等の応急復旧等に関する協定」を締結しました。災害発生時には製造品等の提供のほか、避難場所や救援物資等を一時的に集積する倉庫の提供にもご協力いただく予定です。

昭和39(1964)年3月、西条市での新産業都市誘致第1号の企業として設立された四国積水工業は今年、設立50周年を迎えました。締結式で石平貴裕代表取締役社長は「水にまつわる部材の供給だけでなく、さまざまなことで西条市に貢献し、発展していきたい」と述べられました。

市では今後も、災害への備えを強化するため、民間事業者などとの協定締結を進めていきます。

協定書を手に固い握手を交わす
四国積水工業(株)の石平貴裕代表取締役社長(右)と青野市長

